

ごうどひとめぐり

ロサンゼルスで映画監督として活動

清水 友翔さん

アメリカ・ロサンゼルスは、ハリウッドを中心とした映画産業の中心地として知られ、監督・俳優などを指す人たちが溢れています。神戸町八条出身の清水友翔さん(22歳)は映画監督の夢を携え、そんな激戦区で奮闘しています。

家族が映画好きだったこともあり、小さなころから映画は身近な存在でした。「落ち込んだ時、映画が自分を励ましてくれました。自分も誰かの助けになれたらと思い、映画を撮影する事が目標になりました」と友翔さんは話します。

神戸中学校を卒業して一度は高校に進学しますが、夢を叶えるべく留学を決意。東京で英語を勉強しながら高卒資格を取得し、18歳でロサンゼルスへ拠点を移しました。

大学で映画を学びながら、自分の映画を撮影するための準備を進めました。スタッフを集めるため、まずは



▲撮影の様子



▲"The SOLOist" トレーラー



▲清水友翔さん

他の映画の現場でクルーとして働きます。慣れない環境と闘いながらも、日本人的な気遣いが重宝され、人脈を広げました。

一作目となる短編ホラー"The SOLOist"は、コロナによる撮影中断、それに伴う予算不足と格闘しながら撮影。9月に行われる映画祭"Japan Film Festival Los Angeles"での上映が決定しています。大部分をアメリカ人スタッフで固め、「人生で一番大変でした」という三日間の撮影期間を乗り越えた二作目の短編"VAN-ITAS"も今年完成させました。作品では共通して「生と死」をテーマとして扱っています。暗い話題の多い時代に寄り添いながら、一貫した作品作りを続けています。

名刺代わりとなる短編映画を携え、次に目指すのは自身初となる長編の撮影。撮影の候補地は地元である岐阜県とし、資金等のサポートをしてくれる個人・団体を募っています。「ロサンゼルスに身を置くことで、日本の田園風景が美しく、また海外の人に新鮮に映るということが実感できた。海外での撮影経験と、日本人であるという2つの特性をうまく生かして撮影に挑みたいです」と話してくれました。

清水友翔さん連絡先

MAIL : yuto.jp.filmmaker@gmail.com

戸籍の窓

7月1日～7月31日までの受付分
(届出順・敬称略)
希望者のみ掲載しています

人の動き

令和4年8月1日現在

人口 … 18,642人 (- 15)
男 … 9,093人 (- 9)
女 … 9,549人 (- 6)
世帯数 … 7,146世帯 (+ 3)

※()内は前月との比較



お誕生おめでとうございます



心からお悔やみ申し上げます

区名	お子さんのお名前 (ふりがな)	親さんのお名前
和泉	大場 星波 (せな)	・玲央, 彩加
安次	楠木 颯飛 (はやと)	・幸司, 美咲
柳瀬	後藤 蒼翔 (あおと)	・康寿, 仁美
丈六道	木村 橙輝 (だいき)	・良, 亜矢
三津屋	野嶋 紬葵 (つむぎ)	・和輝, 桃子
東方	川崎 陽菜 (ひな)	・翔平, 真幸
上新町	室 音衣 (のえ)	・龍都, 美月
峰之井	谷澤 絢斗 (あやと)	・一輝, 春菜
末守	西川 礼斐 (れい)	・駿介, 絵莉子

末守	中村 豊 (87歳)
峰之井	宮田 富子 (90歳)
新屋敷	宇野 ゆき彖 (91歳)
安次	小菅 美恵子 (53歳)
瀬古	古山 巖 (81歳)
南方	清水 信夫 (86歳)
清水町	奈波 昱雄 (80歳)
瀬古	中島 綾子 (96歳)
下宮	立川 利春 (73歳)
南方	清水 義昭 (76歳)

